

事業概要：鹿島駅駅舎利活用施設整備事業

新規

申請者	福島県南相馬市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,232千円 (21,472千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	若い世代を中心とした地域住民において地元への愛着を持ちにくい傾向が見られる背景がある。その要因としてイベント等地域とのつながりを得る機会が失われていることが考えられる。築127年という歴史的な価値を有し、多くの地域住民が深い思い入れを持つ鹿島駅舎を地域への愛着を育む場として活用し、地域住民の定住につなげる。あわせて、「駅舎で暮らす」という特別な体験を提供することで移住検討者の関心を惹きつけ、駅舎内における地域住民との交流を通じて当地域とのつながりを深めることで移住促進を図る。これらの取組により人口減少傾向に歯止めをかけることにつなげ、地域の消費活動及び事業の担い手確保の両面において現状からの改善を図り、地元経済の活性化が期待できる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 鹿島駅駅舎を鉄道利用者・地域住民・来訪者が気軽に利用でき、利用者間の交流につながる取組を行う場として活用しながら、歴史的な価値も保存することが出来る環境を整える。 改修後の駅舎においては当地域の魅力が感じられる取組を行い、地域住民がその魅力を再認識することで地元への愛着を育み、定住意向を高める拠点として整備をする。あわせて、移住検討者が滞在し、鹿島区での生活イメージをより具体的に喚起する場を整備し、「駅舎で暮らす」という特別な体験を提供することで移住検討者の関心を惹きつけ、駅舎内での地域住民との交流を通じて当地域とのつながりを深めることが可能な移住促進拠点としても活用する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 【設計業務】 基本設計及び実施設計 21,472千円 ①待合ゾーン：待合機能を充実させるほか、地域情報発信の場として活用。 ②市民交流ゾーン：地域のイベントやサークル活動等が行える場であり、休憩談話等日常的な居場所とするほか、高校生が帰宅する前の居場所として活用。 ③移住促進ゾーン：ホーム側に窓を設けるなど「駅舎で暮らす」という特別な体験を提供する。また、隣接する市民交流ゾーンでの地域住民との交流を促進し、当地域への興味・関心を高め、当地域にて暮らすイメージを具体的に喚起する場。							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のUIターン数（+18人） ②生産年齢人口割合の減少率（±0ポイント） ③南相馬市に住み続けたいと思う人の割合（+1%） ④駅舎を利用する1日あたりの地区住民の数（+86人） ⑤鹿島区市街地の事業所数（±0カ所）※箇所数減の低減を目指す						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年6月中 < 効果検証 > 令和9年4月中